



令和4年 岐阜県鉱工業指数(年報)

【平成27年基準】

1 概況

生産指数	103.1	前年比	2.5%の上昇
出荷指数	97.7	前年比	1.1%の上昇
在庫指数	135.6	前年比	23.8%の上昇

令和4年1年間の生産指数は、輸送機械工業等が低下したものの、汎用・生産用・業務用機械工業、化学工業等が上昇したため、前年比2.5%の上昇となった。

また、出荷指数は、汎用・生産用・業務用機械工業、化学工業等が上昇したため1.1%の上昇となり、在庫指数は、プラスチック製品工業、化学工業等が上昇したため23.8%の上昇となった。

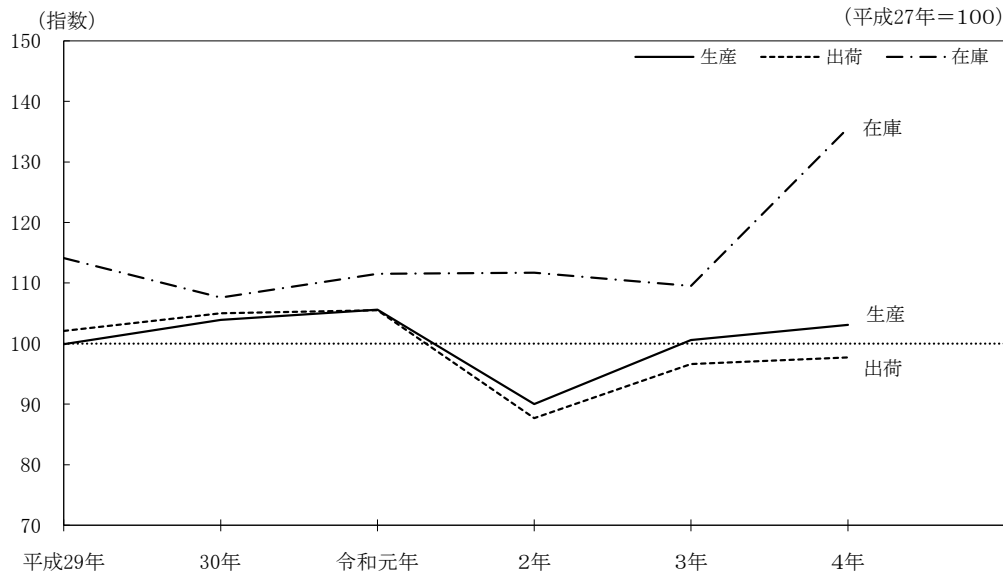
(図-1)

(平成27年=100)

区分	生産		出荷		在庫	
	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)
平成29年	99.9	2.4	102.1	2.9	114.1	15.1
30	103.9	4.0	105.0	2.8	107.6	△5.7
令和元	105.6	1.6	105.5	0.5	111.5	3.6
2	90.0	△14.8	87.7	△16.9	111.7	0.2
3	100.6	11.8	96.6	10.1	109.5	△2.0
4	103.1	2.5	97.7	1.1	135.6	23.8

(注) 年指数の値は、生産及び出荷指数は月指数の平均値、在庫指数は年末値による。

図-1 岐阜県鉱工業指数の推移(原指数)



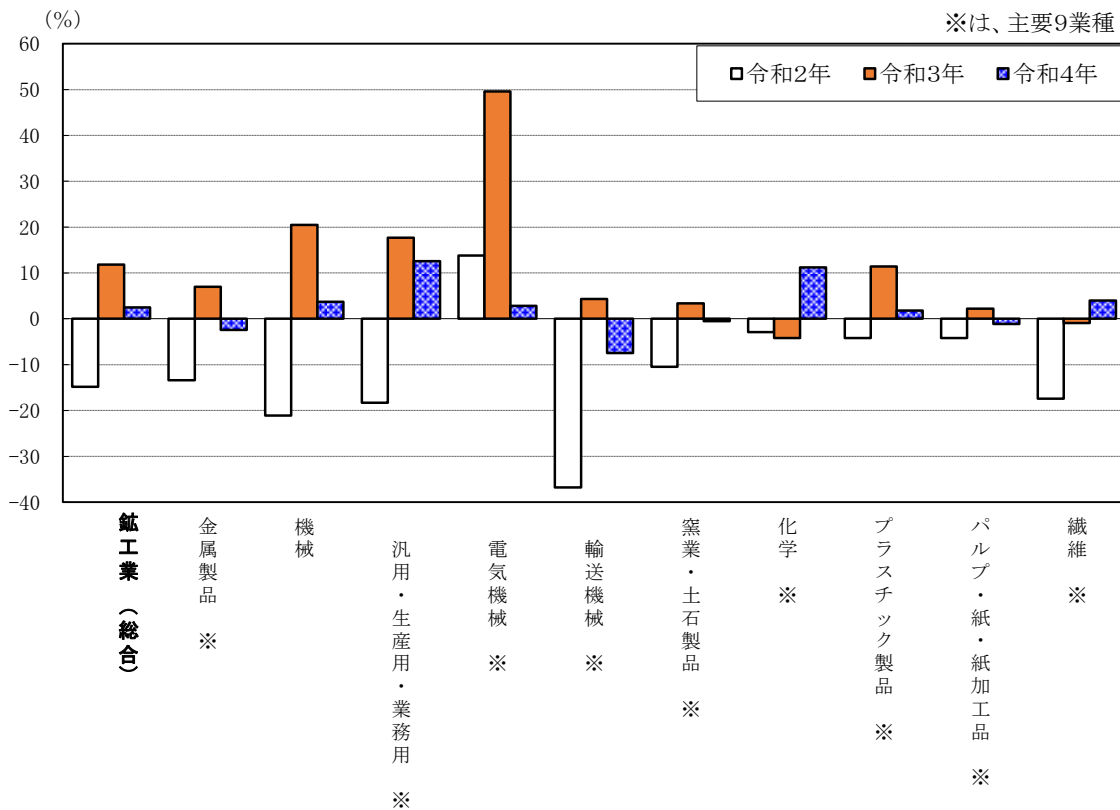
2 主要業種別生産指数の前年比

主要9業種(※)の生産指数を業種別に前年と比べると、上昇したのは、汎用・生産用・業務用機械工業(前年比12.6%)、電気機械工業(同2.8%)、化学工業(同11.2%)、プラスチック製品工業(同1.8%)、繊維工業(同4.0%)の5業種となった。

一方、低下したのは、金属製品工業(同△2.4%)、輸送機械工業(同△7.5%)、窯業・土石製品工業(同△0.5%)、パルプ・紙・紙加工品工業(同△1.1%)の4業種となった。

(図-2、表-1)

図-2 主要業種別生産指数の前年比の推移(原指数)



3 全国、中部との生産指数の比較

令和4年の全国における生産指数は、前年比0.1%の低下であった。

また、中部においては、1.4%の低下であった。

(平成27年=100)

(令和2年=100)

(平成27年=100)

区分	岐阜県		全国		中部	
	生産指数	前年比(%)	生産指数	前年比(%)	生産指数	前年比(%)
平成29年	99.9	2.4	114.0	3.1	105.6	5.7
30	103.9	4.0	114.6	1.1	107.5	1.8
令和元	105.6	1.6	111.6	△2.6	104.4	△2.9
2	90.0	△14.8	100.0	△10.4	90.9	△12.9
3	100.6	11.8	105.4	5.4	98.3	8.1
4	103.1	2.5	105.3	△0.1	96.7	△1.6

(注)「中部」とは、中部経済産業局管内5県(愛知、三重、石川、富山、岐阜)

資料: 経済産業省、中部経済産業局

<令和4年 岐阜県鉱工業指数の詳細について>

1 鉱工業指数の四半期推移

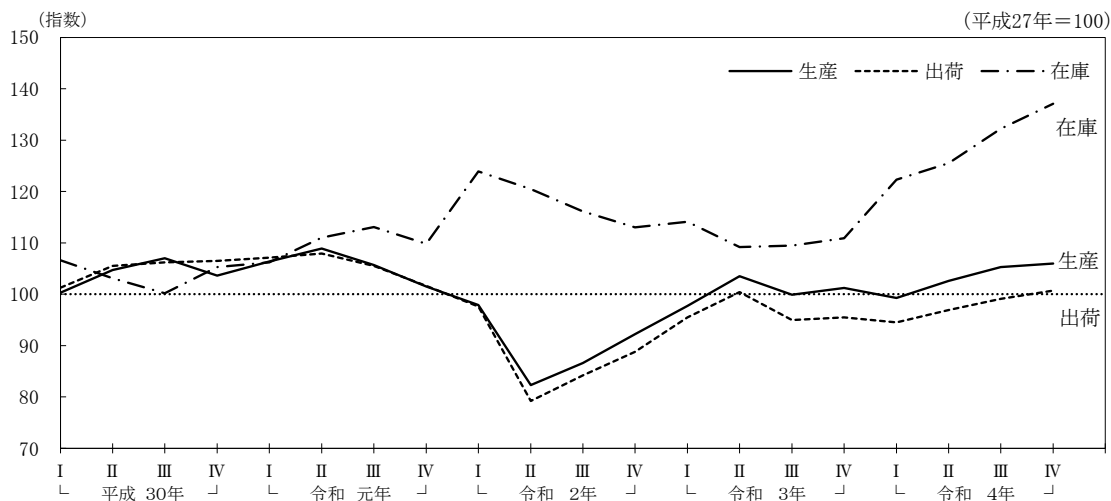
令和4年の生産指数を四半期ごとに比べると、第1期は1.9%の低下、第2期は3.3%、第3期は2.6%、第4期は0.7%の上昇となった。

また、出荷指数も同様に、第1期が低下、第2期から第4期が上昇となった。

なお、在庫指数は全ての四半期において上昇となった。

(図-3、表-2)

図-3 鉱工業指数の四半期推移（季節調整済）



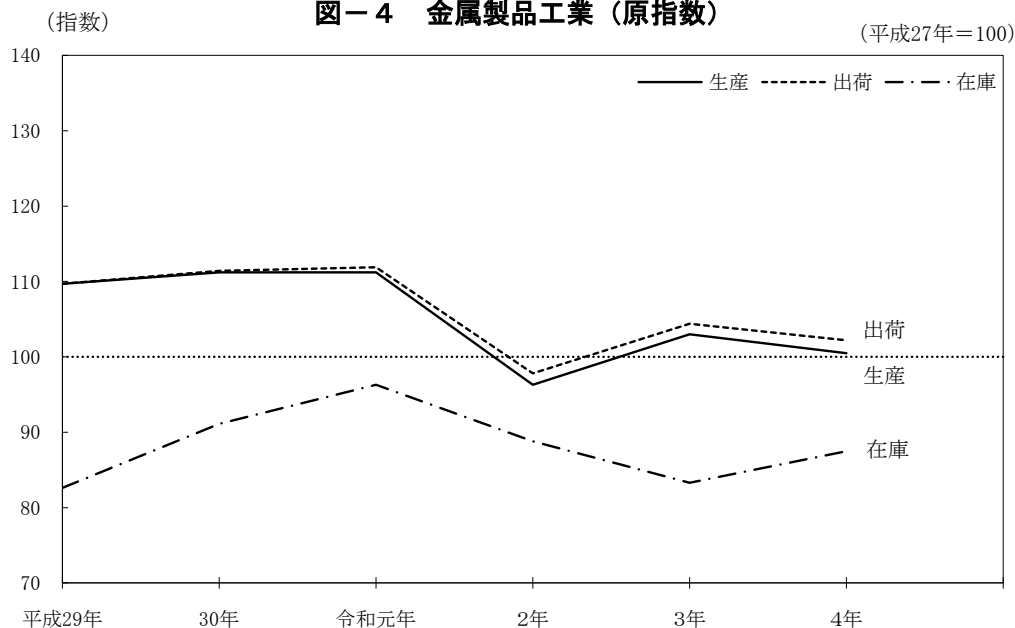
2 主要業種別指数の動向

(1) 金属製品工業

- ・ 生産指数は、ボルト・ナット等が減少したため、前年比2.4%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、ボルト・ナット等が減少したため、前年比2.1%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、はさみ等が増加したため、前年比5.0%の上昇となった。

(図-4、表-1)

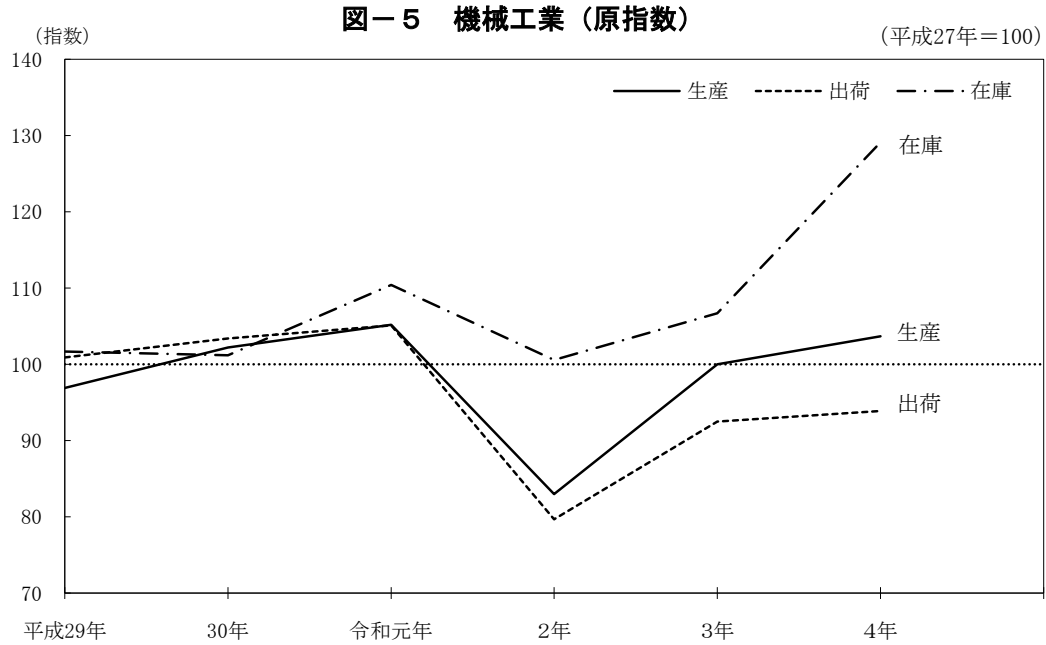
図-4 金属製品工業（原指数）



(2) 機械工業

- ・ 生産指数は、輸送機械工業が低下したものの、汎用・生産用・業務用機械工業、電気機械工業が上昇したため、前年比3.7%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比1.5%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、前年比21.0%の上昇となった。

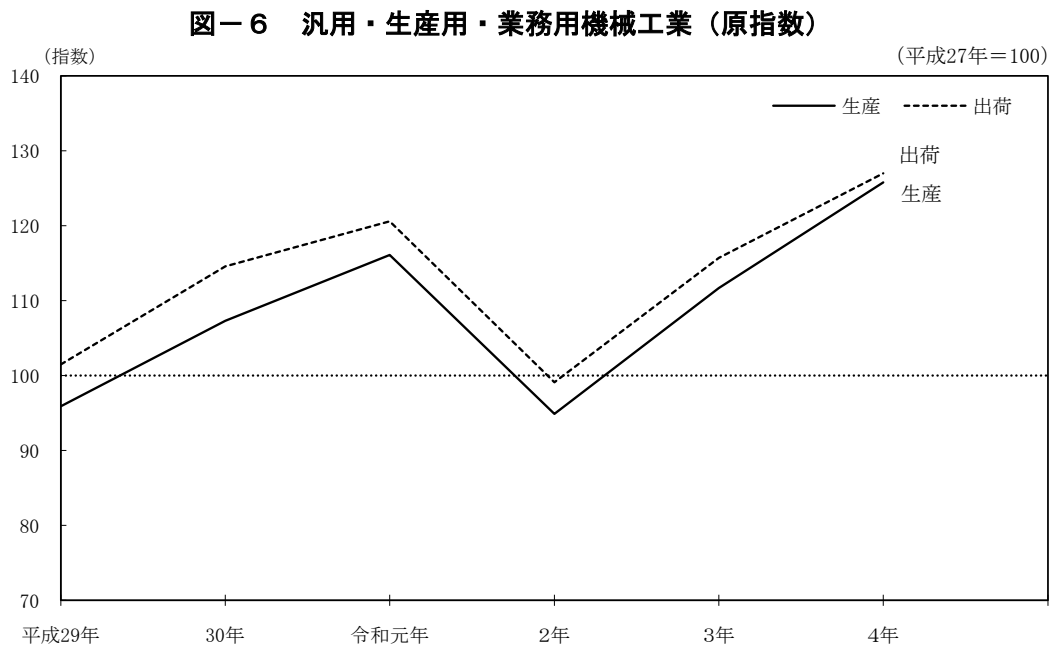
(図-5、表-1)



(2) -ア 汎用・生産用・業務用機械工業

- ・ 生産指数は、金型等が増加したため、前年比12.6%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、金型等が増加したため、前年比9.8%の上昇となった。

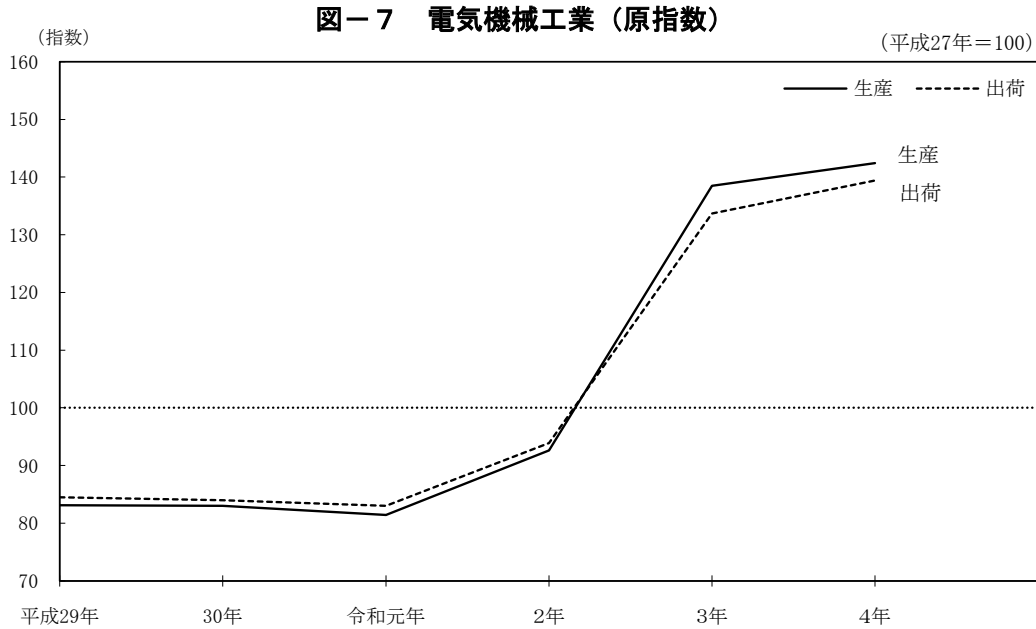
(図-6、表-1)



(2) ーイ 電気機械工業

- ・ 生産指数は、電子回路基板等が増加したため、前年比2.8%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、電子回路基板等が増加したため、前年比4.3%の上昇となった。

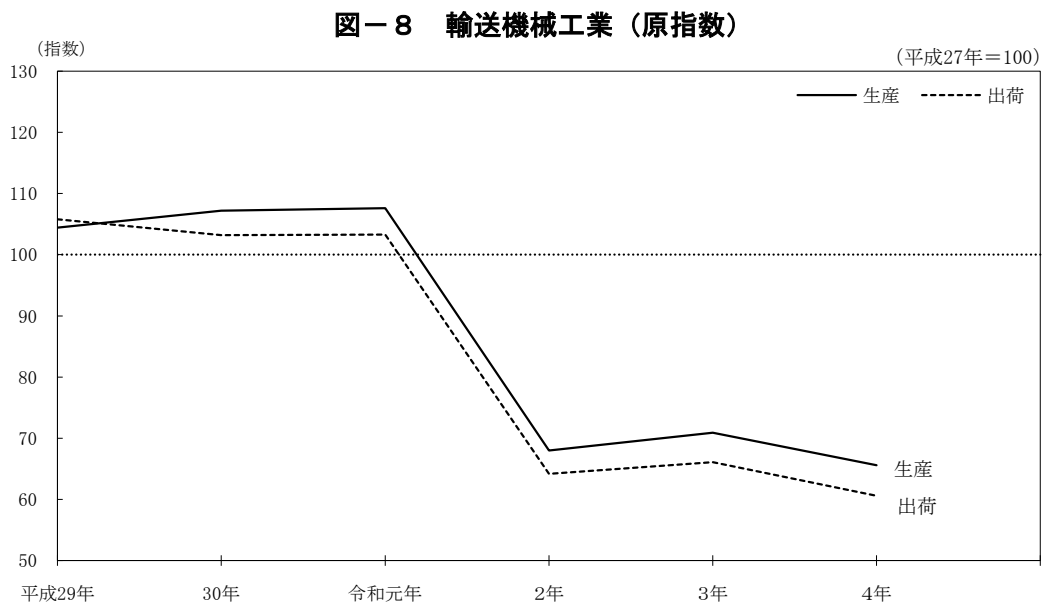
(図-7、表-1)



(2) ーウ 輸送機械工業

- ・ 生産指数は、前年比7.5%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、前年比8.3%の低下となった。

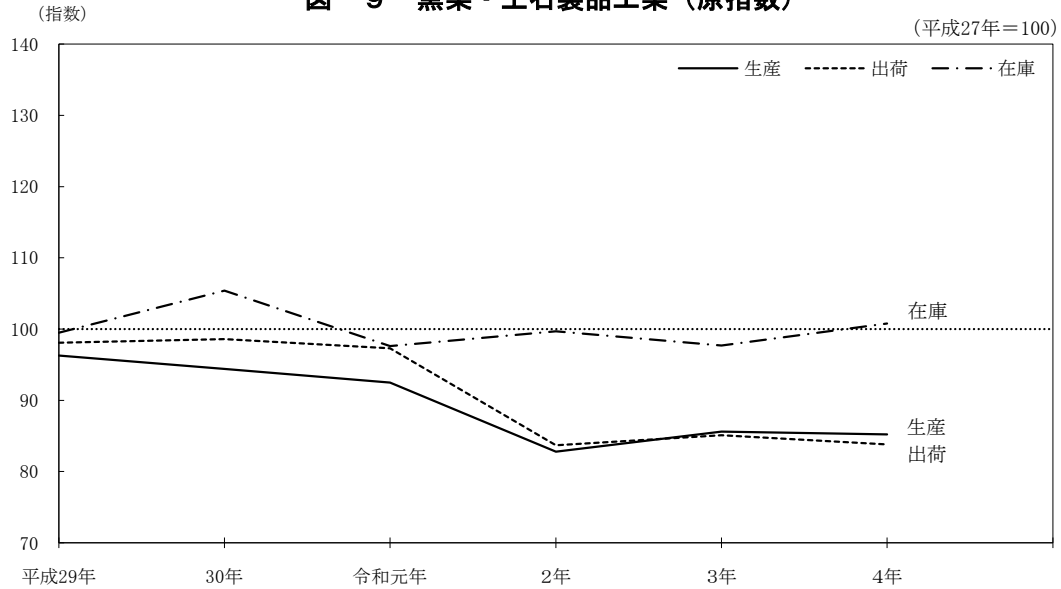
(図-8、表-1)



(3) 窯業・土石製品工業

- ・ 生産指数は、生コンクリート等が減少したため、前年比0.5%の低下となった。
 - ・ 出荷指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が減少したため、前年比1.5%の低下となった。
 - ・ 在庫指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が増加したため、前年比3.2%の上昇となった。
- (図-9、表-1)

図-9 窯業・土石製品工業（原指数）

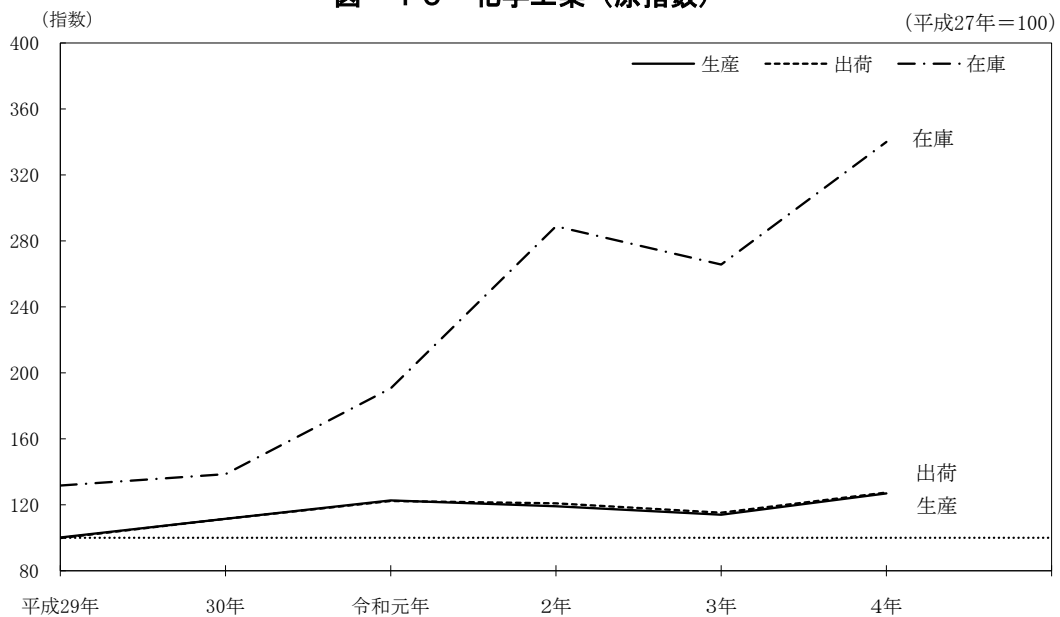


(4) 化学工業

- ・ 生産指数は、医薬品が増加したため、前年比11.2%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、医薬品等が増加したため、前年比10.5%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、前年比27.9%の上昇となった。

(図-10、表-1)

図-10 化学工業（原指数）

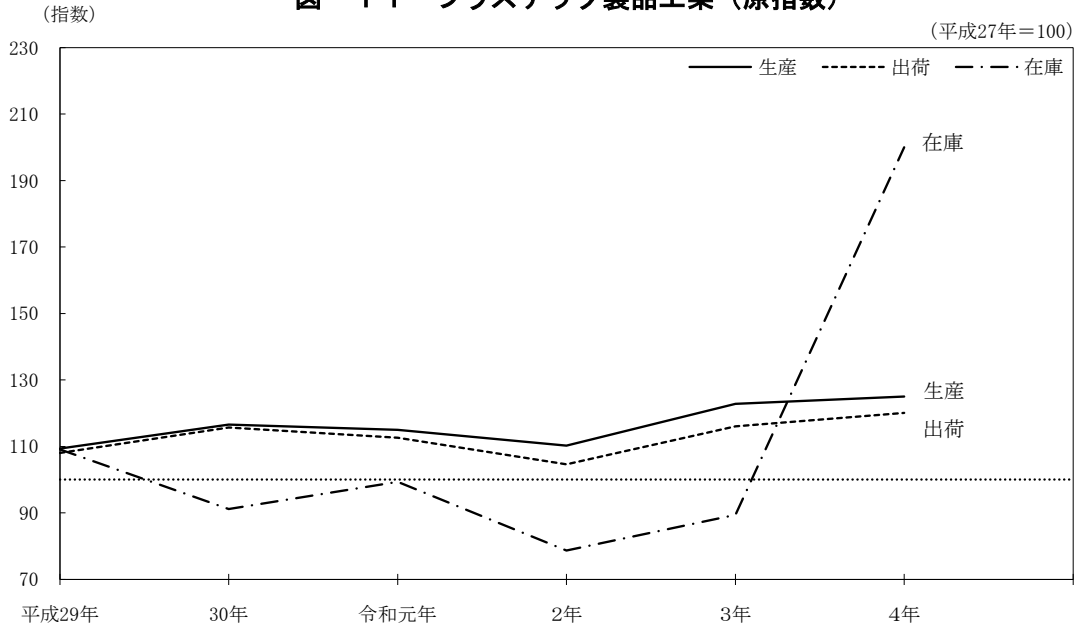


(5) プラスチック製品工業

- ・ 生産指数は、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、前年比1.8%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、前年比3.5%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、プラスチック製容器等が増加したため、前年比123.7%の上昇となった。

(図-11、表-1)

図-11 プラスチック製品工業（原指数）

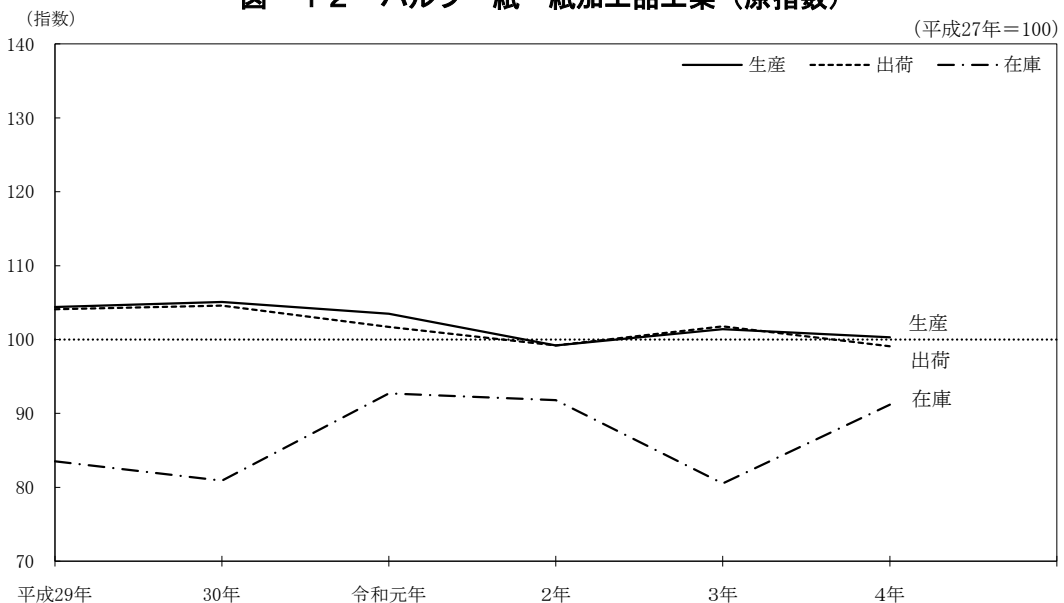


(6) パルプ・紙・紙加工品工業

- ・ 生産指数は、衛生用紙等が減少したため、前年比1.1%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、衛生用紙等が減少したため、前年比2.7%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、雑種紙等が増加したため、前年比13.3%の上昇となった。

(図-12、表-1)

図-12 パルプ・紙・紙加工品工業（原指数）



(7) 繊維工業

- ・ 生産指数は、合成繊維糸等が増加したため、前年比4.0%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比0.1%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、前年比3.5%の低下となった。

(図-13、表-1)

